

2026年度（令和8年度）

学士入学・一般編入学試験要項

◎試験当日は、この「入学試験要項」を必ず持参してください。

文 学 部

神道文化学部

法 学 部

経 済 学 部

もっと日本を。もっと世界へ。

 國學院大學

〒150-8440 東京都渋谷区東4-10-28

総合企画部入学課

☎ 03-5466-0141

www.kokugakuin.ac.jp

大規模災害等、不測の事態により、やむを得ず、入学試験実施（出願要件・試験日程・試験内容等）について変更する可能性があります。変更が生じた場合は、大学ホームページにて随時公表いたしますので、出願にあたっては、必ず大学ホームページにて最新情報をご確認ください。また、出願開始後に変更が生じた場合は、当該出願者に対しEメールまたは郵送にて通知いたします。

入試情報に関する変更は、こちら（大学ホームページ）からご確認ください。



目 次

1. アドミッション・ポリシー（入学者受入れの方針）	1
2. 通学キャンパス・授業時間帯（令和7年度参考）	6
3. 募集人員・出願資格・実施スケジュール・選考方法等	
【1】 学士入学試験	7
【2】 一般編入学試験	11
4. 受験から入学手続まで（学士・一般編入学共通）	15
5. 受験上の配慮について	17
6. 単位認定について	18
7. 英語検定試験のスコア・級数について	19
8. 出願書類について	21
9. 入学志願票記入例（学士・一般編入学共通）	23
10. 入学検定料	25
11. 学費等納付金	26
(1) 学費等納付金について（令和7年度参考）	
(2) フレックスコースの学費等納付金について（神道文化学部）	

【出願にあたっての注意事項】

1. 出願資格・受付期間・試験科目等について、事前に熟読してください。
2. 身体機能の障がいや疾病等により、受験・就学に際して配慮を必要とする場合は、出願する30日前までに必ず入学課にご相談ください。
詳細につきましては、P.17をご参照ください。

【提出書類の確認について】

調査書・推薦書・証明書等については、記載内容の確認のため、大学から発行元の団体・機関等へ連絡をさせていただく場合があります。

【個人情報の取り扱いについて】

國學院大學では、「個人情報の保護に関する法律」を遵守し、個人情報の適正な取り扱いに努め、安全管理のために必要な措置を講じています。出願書類等に記載された個人情報は、下記の利用目的の範囲内において利用し、本人の同意の無い第三者への提供はいたしません。

なお、取得した個人情報に係る業務を外部委託する場合は、学校法人國學院大學個人情報の保護に関する規程、ならびに國學院大學個人情報の保護に関する規程(<https://www.kokugakuin.ac.jp/about/efforts/p17>)に従い、適切に管理します。

利用目的	入学試験の実施および実施に伴う各種通知、入学手続に関する諸連絡、入学予定者への各種案内の送付、本学 学校法人の國學院大學北海道短期大学部の案内書類送付 ※上記のほか、出願時に取得した情報（氏名、受験番号、生年月日、高等学校等コード、高等学校名、志願する入試制度、志望学部学科、調査書記載の学習成績の状況、検定・試験の成績）および入試成績情報を用いて、以下の分析等を行う場合があります。 (1) 高等学校・志望学部学科等、出願者の属性による入試成績状況の把握 (2) 入学後の成績や履修状況と照合・分析し、入試時の状況と入学後の学修状況との関連性を把握 (3) 卒業後の進路情報と照合・分析し、入試時の状況と進路状況の関連性を把握 (4) 入学手続時に取得する情報（入学手続の有無、入学辞退時の進学先）と照合・分析し、本学出願者の進学動向を把握
データ項目	(1) 入学志願票に記入もしくは添付された項目 氏名、住所、電話番号、メールアドレス、性別、生年月日、国籍、出身学校（高等学校等・大学・短期大学（学士入学・編入学のみ））および卒業（見込）年月、志願する入試制度・学科（専攻）、大学入学共通テスト試験成績請求No、日本留学試験受験番号、写真 (2) 調査書、高等学校卒業程度認定試験合格証明書、各種検定・試験の合格証明書・成績（スコア）証明書等に記載されている項目 住所、氏名、生年月日、性別、学習成績の状況、担任による評価、検定・試験の成績および受検年月日
保管期間	10年間

國學院大學における個人情報の利用目的については下記の URL を参照してください。

<https://www.kokugakuin.ac.jp/privacy/p2>

1. アドミッション・ポリシー（入学者受入れの方針）

※アドミッション・ポリシー（以下、「AP」）については、大学ホームページでもご確認ください。

文学部

【日本文学科】

◎求める人材、期待される入学者像

- ・日本の文学・言語・文化を研究したいという意欲を持ち、古典語を含む日本語と日本文化の基礎的な学力を備えている者。
- ・自ら問題を発見し、資料を収集・整理・分析して自分の考えをまとめ、文章で表現できる能力と姿勢を身につける意欲を持つ者。
- ・日本の文学・言語・文化の研究を通して新たな文化創造に参画し、社会に積極的に働きかけ貢献できる者。

◎入学者選考の観点

- (AP1) 国語（古文・漢文を含む）を中心に、日本文学科で学ぶ内容に対応する科目について、高等学校卒業程度の知識・技能を修得しているか。〈知識・技能〉
- (AP2) 自らの知識・技能に基づいて問題を発見し、物事を論理的・客観的に考え整理・分析する力と、それを自らの言葉で表現する能力があるか。〈思考力・判断力・表現力〉
- (AP3) 日本の文学・言語・文化の学修・研究に強い意欲を持ち、将来において社会に発信する主体となるために、積極的に学ぶ姿勢があるか。〈主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度〉

選考方法	AP1	AP2	AP3	本入試制度のねらい
専門科目学力試験	◎			専門科目学力試験で日本文学科での学びに対応しうる学力を有しているかを、面接試験で基礎的な学力と進学への意欲があるかを確かめます。
面接試験	○		○	

◎入学までに身につけるべき教科・科目

入学までに「古典A」「古典B」「現代文A」「現代文B」およびそれに相当する教科を履修していることが望まれます。

【中国文学科】

◎求める人材、期待される入学者像

- ・日本における中国古典の学修・研究に、強い興味・関心を持つ者。
- ・日本における中国近現代文学の学修・研究に、強い興味・関心を持つ者。
- ・中国語の学修・研究に、強い興味・関心を持つ者。
- ・中国文化の学修・研究に、強い興味・関心を持つ者。
- ・教職を目指しての専門分野の学修・研究に、強い興味・関心を持つ者。

◎入学者選考の観点

- (AP1) 国語（古文・漢文を含む）を中心に、中国文学科で学ぶ内容に対応する科目について、高等学校卒業程度の知識・技能を修得しているか。〈知識・技能〉
- (AP2) 知識・技能に基づいて、論理的に考え、自主的に判断し、それを正確に表現する能力を持っているか。〈思考力・判断力・表現力〉
- (AP3) 中国の文学や文化に対する志向性を持ち、主体的に学ぶ姿勢があるか。〈主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度〉

選考方法	AP1	AP2	AP3	本入試制度のねらい
専門科目学力試験	○	◎		学士または編入学の資格を有し、中国の文学や文化への強い興味・関心及び基礎知識を持つ者を受け入れます。
面接試験	○	○	◎	

◎入学までに身につけるべき教科・科目

入学までに、「国語総合（古文・漢文を含む）」で古文・漢文の基礎をしっかりと身につけ、「世界史A」または「世界史B」では、特に中国の歴史・文化とわが国との関係について、十分な知識を身につけていることが望まれます。

【外国語文化学科】

◎求める人材、期待される入学者像

- ・英語および選択必修外国語（ドイツ語、フランス語、中国語のうち一言語）を使えるようになりたいという意欲をもつ者。
- ・英語、ドイツ語、フランス語、中国語を話す地域を中心に、世界各地の文化や習慣を知り、知識の幅を広げたいという意欲がある者。
- ・日本と世界各地のさまざまな言語・文化を照らし合わせながら、グローバル社会における日本文化の発信にかかわろうとする意欲がある者。

◎入学者選考の観点

- （AP1）外国語、国語を中心に、外国語文化学科で学ぶ内容に対応する科目について、高等学校卒業程度の知識・技能を修得しているか。〈知識・技能〉
- （AP2）自分の知識・技能を適切に組み合わせて、論理的に考え、答えを導き出し、表現する能力をもっているか。〈思考力・判断力・表現力〉
- （AP3）自発的に学び、多様な価値観をもつ人々と積極的に協力する姿勢があるか。〈主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度〉

選考方法	AP1	AP2	AP3	本入試制度のねらい
資格・検定試験の成績	◎			本学科への学士入学または一般編入学を強く望み、外国語・外国文化を学ぶ上で必要な基礎学力を持つ者を受け入れます。
面接試験	○	○	◎	

◎入学までに身につけるべき教科・科目

入学までに「コミュニケーション英語Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ」「英語表現Ⅰ、Ⅱ」「国語総合（現代文）」を身につけ、さらに「世界史B」「日本史B」「地理B」から一つ以上の教科を学んでおくことが望まれます。

以上に加えて、実用英語技能検定（英検）2級以上（CSE2.0：1,980以上）、TOEIC[®]L&R 500点以上を獲得できる英語能力を持つことが望まれます。

【史学科】

◎求める人材、期待される入学者像

- ・日本や世界の歴史に関心を持ち、さらに専門的な知識を学んで理解を深めたい者。
- ・歴史資料の調査や研究方法を学び、歴史研究の発信や文化財の保護・活用にかかわりたいという意欲がある者。
- ・歴史上の諸問題に関心を持ち、さまざまな価値観を持つ人々と協力しながら、新しい社会を創造していこうとする意志を持つ者。

◎入学者選考の観点

- （AP1）地理歴史、国語、英語を中心に、史学科で学ぶ内容に対応する科目について、高等学校卒業程度の知識・技能を修得しているか。〈知識・技能〉
- （AP2）物事を論理的・客観的に考える力があり、それらを自分の言葉で発信する能力があるか。〈思考力・判断力・表現力〉
- （AP3）日本史学・外国史学・考古学・地域文化と景観（歴史地理）分野の学修・研究に強い関心を持ち、かつ主体的に学ぶ姿勢を備えているか。〈主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度〉

選考方法	AP1	AP2	AP3	本入試制度のねらい
専門科目学力試験	◎	○		本学科での学修・研究に明確な目的意識と高い意欲を持つ学生を受け入れます。
面接試験		○	◎	

◎入学までに身につけるべき教科・科目

入学までに「日本史B」「世界史B」「地理B」から一つ以上を学んでおくことが望まれます。さらに、「国語総合（古文・漢文を含む）」「古典B」「コミュニケーション英語Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ」「英語表現Ⅰ、Ⅱ」およびそれに相当する教科について、基礎学力を身につけておくことが望まれます。

【哲学科】

◎求める人材、期待される入学者像

- ・東洋・西洋の哲学思想に対する学修を通して、社会に貢献できる知識と能力を有する者。
- ・哲学・倫理学および美学・芸術学の学門分野に対する強い志向性を持ち、物事の本質を見極めたいという知的探究心に基づき、論理的思考を通して洞察を深めることができる者。
- ・文献を読解し、渉猟することによって、あるいは他者との対話によって様々な知に触れ、自らの考えを吟味検証することができる者。

◎入学者選考の観点

- (AP1) 現代文、英語を中心に、哲学科で学ぶ内容に対応する科目について、高等学校卒業程度の知識・技能を習得しているか。〈知識・技能〉
- (AP2) 自分の知識・技能に基づいて、論理的に考え、自ら判断し、それを表現する能力を持っているか。〈思考力・判断力・表現力〉
- (AP3) 哲学（哲学・倫理学や美学・芸術学分野）に対する志向性を持ち、主体的に学ぶ姿勢があるか。〈主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度〉

選考方法	AP1	AP2	AP3	本入試制度のねらい
小論文試験	○	◎		哲学・倫理学および美学・芸術学の学門分野に興味・関心を持ち、学ぶ意欲を持つ者を受け入れます。
面接試験	○	○	◎	

◎入学までに身につけるべき教科・科目

入学までに「国語総合（現代文）」「コミュニケーション英語Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ」「英語表現Ⅰ、Ⅱ」を身につけ、さらに「倫理」「現代社会」「政治経済」「世界史B」「日本史B」「美術Ⅰ」「音楽Ⅰ」「地理A」「地理B」「数学Ⅰ」「数学Ⅱ」「数学A」およびそれに相当する教科の一つ以上履修していることが望まれます。

神道文化学部

【神道文化学科】

◎求める人材、期待される入学者像

國學院大學神道文化学部は、神道を中心とする日本文化への高い関心と、国内外の宗教文化を広く学ぼうとする意欲とを持ち、宗教・文化の継承者として、人々の共存や社会の発展に寄与しようとする人材を受け入れます。具体的には、次のような意欲・意志を持って、学びの成果を社会に活かそうとしている人材を求めています。

- (1) 神道の歴史・思想を学ぶ意欲を持つ者
- (2) 神道の社会的実践・社会貢献について学ぶ意欲を持つ者
- (3) 日本の伝統文化を深く学ぶ意欲を持つ者
- (4) 世界の宗教文化を広く学ぶ意欲を持つ者
- (5) 神社や神道系宗教団体の後継者として専門的な学びを志す者
- (6) 現代社会の文化と宗教との関係について広く学ぶ意欲を持つ者

◎入学者選考の観点

人材受け入れのため、次の観点から受験生を選考します。

- (AP1) 神道を中心とする日本文化や国内外の宗教文化（以下「神道文化・宗教文化」）に関わる授業を履修するために必要となる高等学校卒業相当の知識と文章表現のための技能を身につけているか。〈知識・技能〉
- (AP2) 他者の考えを的確に理解し、自らの考えを理論的かつ簡潔にまとめ、ことばで正確に表現できる能力を有しているか。〈思考力・判断力・表現力〉
- (AP3) 神道文化・宗教文化を幅広く学ぼうとする意欲を持っているか。また、神道文化・宗教文化の学びの成果を活かして、社会への貢献を目指す意志を持っているか。〈主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度〉

選考方法		AP1	AP2	AP3	本入試制度のねらい
第1次選考	活動レポート		○	◎	神道文化学部での学修に必要な総合的な学力を持つ受験生を選考します。 筆記試験では、主に神道・宗教に関する文章の読解・思考力・表現力のための技能を問います。 面接試験では、主に神道文化・宗教文化を学ぶ態度を問います。
	筆記試験	○	◎		
第2次選考	面接試験		○	◎	

◎入学までに身に付けるべき教科・科目

神道文化学部に入学者には、入学後の教育内容との関係上、「国語」「地理歴史」「公民」「外国語（英語）」の学習を求めます。

法学部

【法律学科（法律専攻）】

法学部は、法律学・政治学に関する知識・理論を理解し、これらを活用して価値観の多様化する現代社会に主体的に参画し、社会の様々な分野で活躍できる人間を育成します。このため本学部は、本学部で法律学・政治学の研鑽に努めることに強い意欲を有し、本学部の教育課程を通じて培った専門的知識や能力を活かして、社会に主体的に参画したいと考える学生を受け入れます。

◎求める人材、期待される入学者像

法律専攻では、とくに次のような人材を求めています。

- ・法や政治に関心を有し、社会の様々な分野で活躍したいという意欲がある者

◎入学者選考の観点

- (AP1) 本学部で学ぶ分野に関連する教科・科目について、高等学校卒業程度の基礎学力を備える者〈知識・技能〉
- (AP2) 社会的な事象に対して問題意識を持ち、情報を収集・整理・分析し、論理的に考え、自分の考えを表現するための基礎的な力を持つ者〈思考力・判断力・表現力〉
- (AP3) 教科外の活動に取り組み、その中でコミュニケーション能力などを培ってきた者〈主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度〉

選考方法	AP1	AP2	AP3	本入試制度のねらい
活動レポート			○	学士または編入学の資格を有し、本学部での学修に必要な基礎的な学力を有する者を選考します。
教養科目試験	◎	○		
面接試験			◎	

◎入学までに身につけるべき教科・科目

入学後の教育内容との関係で、本学部の入学者には、入学までに、「国語」「外国語」「地理歴史」「公民」、基礎的な「数学」、基礎的な「理科」の学習を求めます。

経済学部

◎求める人材、期待される入学者像

経済学部は、経済と経営に関する教育を主軸に、主体的に人生を切り拓き、自ら選んだ分野で社会に貢献できる人材を育成します。このことを踏まえて本学部では、次の能力・資質・態度に優れた者を受け入れます。

◎入学者選考の観点

- (AP1) 「英語」「国語」「数学」「地理歴史」「公民」を中心に、経済学部で学ぶ内容に対応する科目について、高等学校卒業程度の知識・技能を備える者。
- (AP2) 各自の問題関心に基づき、情報を収集・分析し、論理的に考え、自らの主張について根拠を示しながら表現できる能力を持つ者。
- (AP3) 他者と積極的に交流し、新しい知識や経験に対して主体的に学修する強い意欲を持つ者。

選考方法	AP1	AP2	AP3	本入試制度のねらい
活動レポート			○	本学部・学科のアドミッション・ポリシー（AP）を理解した上でAPに書かれた基礎学力を取得し、本学部が課す試験において所定の成績を修めた者を受け入れます。
資格・検定試験の成績	◎			
総合問題試験	◎	○		
面接試験		○	◎	

(AP1) 知識・技能

(AP2) 思考力・判断力・表現力

(AP3) 主体性・意欲・志向性

◎入学までに身につけるべき教科・科目

「外国語」「政治・経済」「地理」「日本史」「世界史」「数学」

【経済学科】

経済学科は、日本と世界の経済に関心と学修意欲を持ち、将来、企業や公務員を含むさまざまな分野で個性豊かに活躍することを目標とする、以下のような人材を求めています。

- ・経済理論を真摯に学び、仮説を立て、データを駆使して経済問題を分析したい者。
- ・数学的思考力を経済学の学修に活かし、向上させたい者。
- ・歴史的なアプローチにより、現代の経済問題を把握し、また分析したい者。
- ・現地調査の能力を高めて、地域経済の実態を分析し、より良いあり方を提示したい者。
- ・日本経済の発展要因と課題を理解し、将来に向けた政策を考察したい者。
- ・グローバルな視点で日本や地域の経済を意識しながら、世界経済の現状と課題を考察したい者。

【経営学科】

経営学科は、企業の経営・会計に関心と学修意欲を持ち、市場・組織・戦略に関する学習・研究を通じて、以下のような能力を磨き、将来社会で活躍できる人材を求めています。

- ・実践力と経営スキルを磨いて、企業などの組織の中で、ビジネスリーダーとして活躍したい者。
- ・創造力と課題解決力を磨いて、新たなビジネスに挑戦する企業経営者、起業家、事業承継者などとして活躍したい者。
- ・分析力と論理的思考力を磨いて、会計士、税理士、コンサルタントなどとして、あるいは金融にかかわる業務で活躍したい者。

2. 通学キャンパス・授業時間帯（令和7年度参考）

文学部・神道文化学部・法学部・経済学部のメインキャンパスは「渋谷キャンパス」です。

【授業時間帯】

本学の授業は、以下の時間帯で開講されます。

	渋谷 キャンパス	月	火	水	木	金	土	横浜たまプラーザ キャンパス
1時限	8:50～10:20							9:00～10:30
2時限	10:30～12:00							10:45～12:15
3時限	12:50～14:20							13:05～14:35
4時限	14:30～16:00							14:50～16:20
5時限	16:10～17:40							16:35～18:05
6時限	17:50～19:20							18:15～19:45
7時限	19:30～21:00							

昼開講時間帯
 共通開講時間帯
 夜開講時間帯

※1 渋谷キャンパスは、昼開講時間帯：月～金の1～4限、共通開講時間帯：月～金の5限・土の1・2限

夜開講時間帯：月～金の6・7限、土の3～7限となります。

※2 授業時間帯については、次年度以降変更することがあります。

【フレックス開講制について（神道文化学部）】

フレックス（昼夜）開講制は、コースによりクラス指定される科目を除き、授業時間帯を自由に選ぶことができます。

コースは出願時に選択します。可否の発表は出願時の登録に基づいて行いますので、選択したコースを出願後に変更することは一切認められません。また、入学後のコース変更も認められません。

【ご注意】 卒業時の神職資格取得は、保証されません。

神道文化学部の神職資格課程は、昼間主・夜間主とも4年間の履修と、神社実習への参加を前提としたカリキュラムです。各年度の時間割編成や、今後のカリキュラム改定も、この前提に基づいて行われます。

従って学士入学・一般編入学者（修業年限2年）については、月曜～金曜5・6・7限および土曜日の受講のみでは、卒業時の神職資格取得は保証されません。資格取得に向けては、卒業後も科目等履修を続けることを含め、計画を立てて臨むことが求められます。あらかじめご承知おきください。

3. 【1】 学士入学試験

(1) 募集人員

学 部	学 科	コース・専攻	募集人員
文	日本文		各学科 若干名
	中国文		
	外国語文化		
	史		
	哲		
神道文化	神道文化	フレックス A (夜間主)	
		フレックス B (昼間主)	
法	法律	法律	
経済	経済		
	経営		

※学士入学試験では人間開発・観光まちづくり学部の募集は行いません。

※出願状況および試験結果等により、合格者が募集人員を下回ることがあります。

(2) 出願資格

1. 学士の学位を有する者（令和8年3月に学士の学位を取得見込みの者を含む）。

2. 原則として、志望する学科が卒業（見込みを含む）した学科と異なること。

※令和8年3月に学士の学位を取得見込みで受験し合格した者が、令和8年3月に学士の学位を取得できなかったときは、入学を許可しません。

(3) 出願要件

英語検定試験CEFR B1以上のスコアを持つ者（文学部外国語文化学科、経済学部経済学科・経営学科のみ）。

(4) 入学条件

1. 本学所定の履修規定に従うこと。

2. 学籍上3年次に編入する。

3. 在学期間は2年以上とし、4年を超えないこと。

(5) 入学検定料

35,000円

※一度納入された入学検定料については、いかなる理由があっても返還しませんので、ご注意ください。

(6) 実 施
スケジュール

出願期間（消印有効）	
文学部・法学部	経済学部・神道文化学部
令和7年10月6日（月） ～10月10日（金）	令和7年9月29日（月） ～10月3日（金）
試験日（試験会場：渋谷キャンパス）	
文学部・法学部	経済学部・神道文化学部
11月9日（日） 集合時刻：9：30	【第1次選考】10月19日（日） 集合時刻：9：30
	【第2次選考】11月9日（日） 集合時刻：9：30
合格発表日	
11月19日（水）	【第1次選考】10月22日（水） 【第2次選考】11月19日（水）
入学手続期間（消印有効）	
11月19日（水）～11月26日（水）	

法・経済学部を本学出身者が受験する場合、試験日・集合時刻等が異なりますので各学部の選考方法を確認してください。

※合格発表・入学手続ともに受験ポータルサイト「UCARO」を通じて行います（本学から書類の送付はありません）。入学手続は期間内に学費等納付金を納入し、入学手続書類を大学宛に郵送（簡易書留・速達）することにより入学手続が完了します。詳細はP.16をご参照ください。

(7) 選考方法

<文学部>

- ①専門科目学力試験（60分）※外国語文化学科を除く。
 - ②面接試験 ※外国語文化学科の面接試験は英語による質疑応答を含む。
 - ③英語検定試験のCEFR B1以上のスコア証明書（外国語文化学科のみ。出願時に提出、P.19～20参照）
 - ④ドイツ語・フランス語・中国語の各種検定試験に合格している場合、合格証明書（外国語文化学科のみ。出願時に提出、P.21参照）
- 詳細は下記の通りとする。

学科	集合時刻	試験科目・内容		
		1 時限目 (10 : 00 ~ 11 : 00)	2 時限目 (13 : 00 ~)	
日本文	9 : 30	専門科目学力試験	面接試験 (1人20分程度)	
中国文				古文
史				漢文
				日本史（2題）・考古学・東洋史・西洋史・地理（各1題）の計6題の中から1題を選択して解答（800字程度）
哲		小論文試験（600字程度） 専門の語句説明（2題程度）		
外国語文化	面接試験（1人20分程度）	—		

<神道文化学部>

■第1次選考

- ①活動レポート（出願時に提出、P.22参照）
- ②筆記試験（60分）

筆記試験では、神道・宗教に関する知識や読解・思考力・表現力を問います。課題図書の内容を理解できるまで、何度もよく読んでください。参考図書もよく読んで、神道・宗教に関する理解を深めてください。なお、課題図書は、自分の興味がある箇所だけでなく、指定された範囲も含めて熟読してください。

《課題図書》

- ・國學院大學神道文化学部編『プレステップ神道学〈第2版〉』（弘文堂、2023）（範囲：第4章～第9章）
- ・石井研士著『プレステップ宗教学〈第3版〉』（弘文堂、2020）（範囲：第1章～第12章）

《参考図書》

- ・國學院大學日本文化研究所編『神道事典（縮刷版）』（弘文堂、1999）
- ・岡田莊司・小林宣彦編『日本神道史（増補新版）』（吉川弘文館、2021）

集合時刻	試験時間	試験内容
9 : 30	10 : 00 ~ 11 : 00	筆記試験

■第2次選考（第1次選考合格者のみに実施）

①面接試験

詳細は下記の通りとする。

集合時刻	試験時間	試験内容
9:30	10:00～	面接試験（1人20分程度）

<法学部>

(1) 國學院大學以外の大学出身者

①教養科目試験（60分）

②面接試験

詳細は下記の通りとする。

集合時刻	試験科目・内容	
	1時限目 (10:00～11:00)	2時限目 (13:00～)
9:30	教養科目試験 社会に関する英文の和訳 (辞書・電子辞書の持ち込み可)	面接試験（1人20分程度）

(2) 國學院大學出身者

①面接試験

詳細は下記の通りとする。

集合時刻	試験科目・内容	
	1時限目 (10:00～11:00)	2時限目 (13:00～)
12:30		面接試験（1人20分程度）

<経済学部>

(1) 國學院大學以外の大学出身者

■第1次選考

①活動レポート（出願時に提出、P.22参照）

②総合問題試験（90分、全体で1,000～1,500字程度）

集合時刻	試験時間	試験内容
9:30	10:00～11:30	総合問題試験

■第2次選考（第1次選考合格者のみに実施）

①面接試験

詳細は下記の通りとする。

集合時刻	試験時間	試験内容
9:30	10:00～	面接試験（1人20分程度）

(2) 國學院大學出身者

①活動レポート（出願時に提出、P.22参照）

②面接試験（11月9日（日）実施）

詳細は下記の通りとする。

集合時刻	試験時間	試験内容
9:30	10:00～	面接試験（1人20分程度）

3. 【2】一般編入学試験

(1) 募集人員

学部	学科	コース・専攻	募集人員
文	日本文		各学科 若干名
	中国文		
	外国語文化		
	史		
	哲		
神道文化	神道文化	フレックス A（夜間主）	
		フレックス B（昼間主）	
法	法律	法律	
経済	経済		
	経営		

※一般編入学試験では人間開発・観光まちづくり学部の募集は行いません。

※出願状況および試験結果等により、合格者が募集人員を下回ることがあります。

(2) 出願資格

以下のいずれかに該当する者。

1. 日本の短期大学または高等専門学校を卒業した者（令和8年3月に卒業見込みの者を含む）。
2. 日本の4年制または6年制大学で2年次を修了し、かつ、卒業要件単位62単位以上を修得した者（令和8年3月に2年次を修了し、かつ、卒業要件単位62単位以上を修得見込みの者を含む）。
3. 出願資格1. または2. と同等以上の学力があると本学が特に認めた者。

※令和8年3月に「出願資格1.」を満たす見込みで受験し合格した者が、令和8年3月に卒業できなかったときは、入学を許可しません。

令和8年3月に「出願資格2.」を満たす見込みで受験し合格した者が、令和8年3月に2年次を修了できなかったとき、または卒業要件単位62単位を修得できなかったときも、同様です。

(3) 出願要件

英語検定試験CEFR B1以上のスコアを持つ者（文学部外国語文化学科、経済学部経済学科・経営学科のみ）。

(4) 入学条件

1. 本学所定の履修規定に従うこと。
2. 学籍上3年次に編入する。
3. 在学期間は2年以上とし、4年を超えないこと。

(5) 入学検定料

35,000円

※一度納入された入学検定料については、いかなる理由があっても返還しませんので、ご注意ください。

(6) 実施
スケジュール

出願期間（消印有効）	
文学部・法学部	経済学部・神道文化学部
令和7年10月6日（月） ～10月10日（金）	令和7年9月29日（月） ～10月3日（金）
試験日（試験会場：渋谷キャンパス）	
文学部・法学部	経済学部・神道文化学部
11月9日（日） 集合時刻：9：30	【第1次選考】10月19日（日） 集合時刻：9：30
	【第2次選考】11月9日（日） 集合時刻：9：30
合格発表日	
11月19日（水）	【第1次選考】10月22日（水） 【第2次選考】11月19日（水）
入学手続期間（消印有効）	
11月19日（水）～11月26日（水）	

※合格発表・入学手続ともに受験ポータルサイト「UCARO」を通じて行います（本学から書類の送付はありません）。入学手続は期間内に学費等納付金を納入し、入学手続書類を大学宛に郵送（簡易書留・速達）することにより入学手続が完了します。詳細はP.16をご参照ください。

(7) 選考方法

<文学部>

- ①専門科目学力試験（60分）※外国語文化学科を除く。
 - ②面接試験 ※外国語文化学科の面接試験は英語による質疑応答を含む。
 - ③英語検定試験のCEFR B1以上のスコア証明書（外国語文化学科のみ。出願時に提出、P.19～20参照）
 - ④ドイツ語・フランス語・中国語の各種検定試験に合格している場合、合格証明書（外国語文化学科のみ。出願時に提出、P.21参照）
- 詳細は下記の通りとする。

学科	集合時刻	試験科目・内容		
		1時限目 (10:00～11:00)	2時限目 (13:00～)	
日本文	9:30	専門科目学力試験	古文	面接試験 (1人20分程度)
中国文			漢文	
史			日本史（2題）・ 考古学・東洋史・西洋史・地理（各1題）の計6題の中から1題を選択して解答（800字程度）	
哲			小論文試験（600字程度） 専門の語句説明（2題程度）	
外国語文化			面接試験（1人20分程度）	

<神道文化学部>

■第1次選考

- ①活動レポート（出願時に提出、P.22参照）
- ②筆記試験（60分）

筆記試験では、神道・宗教に関する知識や読解・思考力・表現力を問います。課題図書の内容を理解できるまで、何度もよく読んでください。参考図書もよく読んで、神道・宗教に関する理解を深めてください。なお、課題図書は、自分の興味がある箇所だけでなく、指定された範囲も含めて熟読してください。

《課題図書》

- ・國學院大學神道文化学部編『プレステップ神道学〈第2版〉』（弘文堂、2023）（範囲：第4章～第9章）
- ・石井研士著『プレステップ宗教学〈第3版〉』（弘文堂、2020）（範囲：第1章～第12章）

《参考図書》

- ・國學院大學日本文化研究所編『神道事典（縮刷版）』（弘文堂、1999）
- ・岡田莊司・小林宣彦編『日本神道史（増補新版）』（吉川弘文館、2021）

集合時刻	試験時間	試験内容
9:30	10:00～11:00	筆記試験

■第2次選考（第1次選考合格者のみに実施）

①面接試験

詳細は下記の通りとする。

集合時刻	試験時間	試験内容
9:30	10:00～	面接試験（1人20分程度）

<法学部>

①教養科目試験（60分）

詳細は下記の通りとする。

集合時刻	試験時間	試験科目・内容
9:30	10:00～11:00	教養科目試験 社会に関する英文の和訳 (辞書・電子辞書の持ち込み可)

<経済学部>

■第1次選考

①活動レポート（出願時に提出、P.22参照）

②総合問題試験（90分、全体で1,000～1,500字程度）

集合時刻	試験時間	試験内容
9:30	10:00～11:30	総合問題試験

■第2次選考（第1次選考合格者のみに実施）

①面接試験

詳細は下記の通りとする。

集合時刻	試験時間	試験内容
9:30	10:00～	面接試験（1人20分程度）

4. 受験から入学手続まで（学士・一般編入学共通）

(1) 受験に関する諸注意

①開門時刻	<p>集合時刻30分前</p> <p>※試験教室には集合時刻（試験開始30分前）までに入室してください。入場後は、試験が終了するまで場外に出ることはできません。</p>
②受験番号 通知書	<ul style="list-style-type: none"> ・出願された方全員に受験番号通知書を発送します。試験3日前になっても受験番号通知書が届かない場合や、記載内容に誤りのある場合、また紛失や破損をしてしまった場合には、入学課（03-5466-0141）までお問い合わせください。 ・大学のシステムでは、一部の異体字（高・崎・凜・遥・熙など）が対象外となるため、受験番号通知書・合格通知等に表記できない場合があります。表記できない漢字については、字体の異なる同字で置き換えられるか、カタカナで表記されますのでご了承ください。 ・試験当日は必ず<u>受験番号通知書を持参</u>し、案内掲示板にて自分の受験番号を確認のうえ、該当の試験教室に入室してください。 ・受験番号はUCAROによる合否通知に必要となりますので大切に保管してください。
③遅刻	<p><u>遅刻は一切認めません</u>。指定された集合時刻に間に合わなかった場合、試験を受けることはできません。なお、事故等により交通機関に遅延が生じた場合でも、試験は原則として定刻通り実施します。</p>
④試験時間 中の注意 事項	<ul style="list-style-type: none"> ・<u>時計は必ず持参してください</u>。ただし、辞書・電卓・計算・通信端末等の機能があるものや、それらの機能の有無が判別しづらいもの、秒針音のするもの、キッチンタイマー、学習タイマー、大型のものは使用できません。また、試験時間中は携帯電話など電子機器類の電源を必ず切ってください。 ・試験時間中に机の上に置けるものは、「筆記具（HBに限る。和歌・格言等が印刷されているものは不可）」「プラスチック製の消しゴム」「鉛筆削り（電動式・大型のもの・ナイフ類を除く）」「メガネ」です。これら以外の所持品を使用または置いている場合は、解答を一時中断させて、試験終了まで預かることがあります。 ・「定規（定規の機能を備えた鉛筆等を含む）」「コンパス」「電卓」「そろばん」「グラフ用紙」等の補助具や、「電子辞書」「携帯電話」「スマートフォン」「腕時計型通信端末」「ICレコーダー」「スマートグラス」等の電子機器類は使用できません。試験時間中に、これらを使用すると不正行為となります。 ・受験者は試験時間中に以下の物を使用することができます（ただし、不正行為防止のため、必要に応じて試験監督者が確認する、または使用を認めないことがあります）。「座布団」「ひざかけ」「ティッシュペーパー」「目薬・点鼻薬」「シャープペンシルの替え芯」「ハンカチ・ハンドタオル」「マスク」 ※「ティッシュペーパー」は袋から、「シャープペンシルの替え芯」はケースから、中身のみを取り出したもののみ使用を認めます。 ※「耳せん」は、監督者の指示等が聞き取れないことがありますので使用できません。 ・英語や地図、和歌や格言等が印字されている服の着用や所持品の使用はできません。 ・試験教室からの入退室は、試験監督の指示に従ってください。不正行為をした者・試験監督の注意や指示に従わない者には退室を命じ、以降の受験は一切認めません。
⑤感染症に 関する 注意事項	<p>試験当日、学校保健安全法・学校保健安全法施行規則で出席の停止が定められている感染症（新型コロナウイルス感染症・インフルエンザ・麻疹・風疹等）に罹患し治癒していない者は、他の受験者や監督者等への感染の恐れがありますので、受験をご遠慮願います。</p> <p>また、試験当日に発症の疑いがあると大学が判断した場合には、受験をご遠慮願いますので、体調管理については十分注意してください。</p> <p>ただし、症状により学校医その他の医師において伝染の恐れがないと認めた際には、この限りではありません。なお、上記により受験をご遠慮いただいた場合でも、原則として再試験などの措置や入学検定料の返還は行いません。</p>

⑥その他	<ul style="list-style-type: none"> ・試験日程が午前から午後にあたる場合は必ず<u>昼食を持参</u>してください。 ・上履きを持参する必要はありません。 ・試験教室の下見はできません。 ・試験会場へは公共の交通機関をご利用ください。自動車や自転車、バイク等での試験場構内への乗り入れはできません。 ・大規模災害等、不測の事態により、所定の日程通りに入学試験や合格発表等を実施することが困難であると本学が判断した場合、延期・再試験等の対応措置を取らざるを得ないことがあります。これらの対応措置を講ずる場合は、大学ホームページに掲載しますので、確認してください。(www.kokugakuin.ac.jp/admission)
------	--

(2) 評価方法について

出願書類ならびに各学科が指定する選考方法を用いて、アドミッション・ポリシーに基づき、学力を構成する特に重要な以下の三つの要素を多面的・総合的に評価します。

- ①基礎的・基本的な知識・技能
- ②知識・技能を活用して、自ら課題を発見し、その解決に向けて探究し、成果等を表現するために必要な思考力・判断力・表現力等の能力
- ③主体性を持ち、多様な人々と協働しつつ学習する態度

(3) 合格発表について

受験ポータルサイト「UCARO」にて合否通知を行います。確認する際に、受験番号と生年月日が必要となります。発表日の12:00以降に下記のアドレスにアクセスしてください。

電話による合否の問い合わせには一切応じません。

合格発表専用 UCARO ホームページアドレス

<https://www.ucaro.net/gouhi/304012A>



合格者に対しては、UCARO上の合格発表画面にて、入学手続に関する案内を行います。入学手続は、Web入学手続システムを通して行うものとし、大学から入学手続書類・合格通知書等の送付はいたしません。UCARO上の画面の指示に従って手続を行ってください。

なお、「誤操作」「見間違い」等を理由とした入学手続締め切り日を過ぎての入学手続は一切認めません。

5. 受験上の配慮について

身体等の障がいや病気・負傷により受験配慮を希望する者に対して、申請内容に基づき審査の上、症状や状態等に応じた受験上の配慮を行います。ただし、すべての希望に対応できるとは限りません。

また、許可された内容については入学後の配慮を確約するものではありませんので、あらかじめご了承ください。

申請期限を過ぎての申請は受け付けることができませんので、必ず期間内に申請をお願いいたします。ただし、申請期限後に不慮の事故や急な発病により受験上の配慮が必要になった場合に限り、速やかに本学入学課まで問い合わせください。

【受験上の配慮事例】

区分	配慮事項
視覚障がい	点字文字冊子・解答用紙の配付/拡大問題冊子・解答用紙の配付/試験時間の延長/リーディングルーラーの使用/定規の使用（文章を読む際の補助具）/拡大鏡の使用
聴覚障がい	注意事項等の文書による伝達/座席を前列に指定/補聴器または人工内耳の装用/開始と終了の合図/面接試験での文字化
肢体不自由	チェック解答/試験時間の延長/1階またはエレベーターが利用可能な試験室で受験/車椅子、杖の持参使用/多目的トイレの使用
病弱	別室受験/試験教室入口までの付添者の同伴/座席配慮/デジタル耳栓（通信機能なし）の使用/保護者が待機
発達障がい	別室受験/試験時間の延長/拡大問題冊子・解答用紙の配付/チェック解答/自己マッサージ/試験中のストレッチ
その他	薬の服用・インスリンポンプの使用・喘息用の小型吸入器の使用、またそれらの机上常備/イヤーマフの使用/耳栓の使用

※別室受験については、原則個室ではありません。

※申請方法：必要事項を大学ホームページ（受験上の配慮申請について（令和8年度入学試験受験者用））より入力し、入学課に出願する30日前までに申請してください。

<https://www.kokugakuin.ac.jp/admission/admissions/p2/p6>



申請方法
(大学HP)

6. 単位認定について

(1) 学士入学者

前在籍大学において修得した単位を以下の条件で國學院大學の単位として認定します。

	卒業に要する 単位	文・法学部 単位認定	神道文化学部 単位認定	経済学部 単位認定
専門教育 科目	64単位 (経済学部は74単位)	認定しない	認定しない	10単位を上限に認定 する
共通教育 科目	36単位	34単位を一括認定する ※本学出身者は36単位	36単位を一括認定する	34単位を一括認定する ※本学出身者は36単位
その他要 卒単位	24単位 (経済学部は14単位)	24単位を一括認定する	24単位を一括認定する	14単位を一括認定する

※経済学部の専門教育科目に関する単位認定は、科目の内容および単位数等により本学の基準に基づいて行います。

※教職課程科目については、一切認定しませんが、教育職員免許法に基づいて単位の流用が可能な場合があります。本学入学後に、ご相談ください。

※資格課程科目については、一切認定しません。

※単位認定の方法については、変更になる場合があります。

単位認定についてご不明な点は、教務課（03-5466-0135）までお問い合わせください。

(2) 一般編入学者

前在籍大学・短期大学において修得した単位を以下の条件で國學院大學の単位として認定します。

	卒業に要する 単位	文・法学部 単位認定	神道文化学部 単位認定	経済学部 単位認定
専門教育科目	64単位 (経済学部は74単位)	認定しない	認定しない	10単位を上限に 認定する
共通教育科目	36単位	34単位を上限に 認定する	36単位を上限に 認定する	34単位を上限に 認定する
その他要卒単位	24単位 (経済学部は14単位)	24単位を上限に 認定する	24単位を上限に 認定する	14単位を上限に 認定する

※単位認定は、科目の内容および単位数等により本学の基準に基づいて行います。

※教職課程科目については、教育職員免許法に基づいて単位認定もしくは単位の流用が可能な場合があります。本学入学後に、ご相談ください。

※資格課程科目については、一切認定しません。

※単位認定の方法については、変更になる場合があります。

単位認定についてご不明な点は、教務課（03-5466-0135）までお問い合わせください。

7. 英語検定試験のスコア・級数について

本入試制度で外国語文化学科・経済学科・経営学科において出願資格としている「CEFR B1以上」の基準値は以下のスコアを参考値とします。

スコア・級は令和5年4月1日以降に取得したものを有効とします。

CEFR ※1	各検定のスコア							
	実用英語技能検定 (英検)※2	TOEIC® L&R およびS&W※3	GTEC※4	TEAP (R/L+W/S)※5	TEAP CBT ※5	ケンブリッジ 英語検定※6	TOEFL iBT® ※7	IELTS※7 (アカデミック・ モジュール)
C2						230 200	120 114	9.0 8.5
C1	3299 2600	1390 1305	1400 1350	400 375	800	199 180	113 95	8.0 7.0
	(3299) 各級CEFR 算出範囲 (2599) 1級							
B2	2599 2300	1300 1095	1349 1180	374 309	795 600	179 160	94 72	6.5 5.5
	(2299) 準1級 (2304)							
B1	2299 1950	1090 790	1179 930	308 225	595 420	159 140	71 42	5.0 4.0
	(1949) 2級 (1980)							
A2	1949 1700	785 385	929 680	224 135	415 235	139 120		
	(1700) 準2級 プラス (1728)							

※1 各検定試験の証明書に記載される、4技能（Reading, Listening, Writing, Speaking）総合でのCEFRレベルを指します。4技能総合CEFRが判定されていない場合は、スコアの利用はできません。

※2 従来型・新方式（S-CBT, S-Interview）いずれも可。上表に示すCEFRレベルを満たしていれば、合否は問いません。ただし、取得したCSEスコアが受験級においてCEFR算出外となる場合は、スコアの利用はできません。

※3 TOEIC®はL&RおよびS&W両試験の受験およびスコアが必須となります。また、TOEIC IPは不可とします。

※4 GTECは受験年度により、同一のスコアでも証明書記載のCEFRレベルが異なる場合があります。GTECの成績を利用する場合は、証明書記載のCEFRレベルにかかわらず、4技能合計スコアに基づいて出願可否の判断および選考を行います。なお、オフィシャルスコアのみ利用可とし、検定版はCore,Basic,Advancedいずれも可とします。

※5 TEAPは異なる試験日のスコアを合算できません。

※6 ケンブリッジ英語検定4技能CBT（Linguaskill）は不可とします。

※7 自宅受験形式は不可とします。また、B1以上のスコアを持つ場合のみ出願可とします。

スコアの利用に際しては、下表に示す成績表を必ず提出してください。下表にないもの（Web上での結果通知画面のスクリーンショット等）は成績の証明として認められません。

検定試験名	成績表
実用英語技能検定（英検）*1	合格証明書・CSEスコア証明書・デジタル証明書*2 または個人成績表のいずれか
TOEIC® L&RおよびS&W	Official Score Certificate
GTEC(検定版またはCBT)	Official Score Certificate
TEAP(R/L+W/S)*1	成績表
TEAP CBT*1	成績表
ケンブリッジ英語検定	合格証明書
TOEFL iBT®	Examinee Score Report, Official Score Reports (Institutional Score Report) のいずれか*3
IELTS (アカデミック・モジュール)	Test Report Form*4

〈成績表の提出について〉

*1は成績ダウンロードシステムを使用するため、提出する証明書類の原本・コピーは問いません。そのほかの検定試験の証明書類は、原本または原本証明がなされたコピーのみ受け付けます。

試験実施団体のシステムに登録されている志願者の生年月日に誤りがある場合、大学側で成績のダウンロードができず、受験が認められない場合があります。正しい生年月日が登録されているか出願前に必ず確認してください。生年月日の確認・訂正方法で不明な点がある場合は、試験実施団体（英検サービスセンター）にお問い合わせください。本学での対応はできません。

【生年月日の確認方法について】

「従来型英検」、「英検S-Interview」の成績を大学に提出予定の方は、「受験者用ログインサービス」から英検IDとパスワードでログインしていただき「個人情報の確認・変更」からご確認ください。

「英検 S-CBT」の成績を大学に提出予定の方は、個人成績表でご確認ください。

【生年月日の訂正方法について】

受験いただいた試験方式別にお問い合わせ窓口までご連絡ください。

※参考URL：<https://www.eiken.or.jp/eiken/nyushi/forstudents/faq.html>

*2はプレビュー画面をプリントアウトしたものの提出を受け付けます。

*3 TOEFL iBT®のOfficial Score Reports (Institutional Score Report) は、ETS より本学へ直送の手続きを行う必要があります。Institution Code はC803、Department Code は00です。

*4 IELTS のTest Report Form について、テストセンターからの直送制度を利用する場合、送付先の機関名をKokugakuin University、担当部署をAdmissions Officeとし、渋谷キャンパス宛に郵便での送付を依頼してください。

8. 出願書類について

出願に必要な書類を全てそろえ、入学検定料振込後、本学所定の出願封筒ラベルを使用し、**速達・簡易書留で入学課宛に送付**してください。窓口での受付は行いませんのでご注意ください。

<p>① 入学志願票 【本学所定用紙】</p>	<p>「入学志願票記入例（P.23～24）を参考に記入してください。入学検定料（35,000円）を振込み、写真（縦4cm×横3cm）を貼付してください。出願の際には「入学志願票・写真票」を切り離さずに提出してください。</p>	
<p>② 各種証明書 ①・②は全員が提出（出願前3カ月以内に発行されたものに限る）。 ③は文学部外国語文化学科、経済学部志願者のみ提出。 ※各種証明書の氏名が旧姓の場合には、同一人物であることを証明する書類（戸籍抄本等）を同封してください。</p>	<p>①出願資格を証明する書類（卒業証明書等）</p>	
	<p>学士入学</p>	<p>出身大学が発行した「卒業（見込）証明書」</p>
	<p>一般編入学</p>	<p>出身短期大学または高等専門学校が発行した「卒業（見込）証明書」もしくは、在籍大学または高等専門学校が発行した「在籍証明書」</p>
	<p>②単位認定に関する書類（単位成績証明書等） ※入学手続の際にも「卒業証明書」および「単位成績証明書」の提出が必要となります。すでに大学を卒業している場合は、それぞれを2部ずつ用意しておくことをお勧めします。</p>	
	<p>学士入学</p>	<p>出身大学が発行した「単位成績証明書」 ※履修中（取得見込）の単位がある場合は、履修が証明できる書類（履修登録証明書等）も提出してください。</p>
<p>一般編入学</p>	<p>出身短期大学・大学が発行した「単位成績証明書」 ※履修中（取得見込）の単位がある場合は、履修が証明できる書類（履修登録証明書等）も提出してください。</p>	
<p>③資格・スコアを証明する書類【様式A】 必要事項を記入の上、出願資格を証明する書類を裏面に貼付してください。出願資格を証明する資格・スコアは、令和5年4月1日以降に取得したものを有効します。 なお、本学では、実用英語技能検定（英検）とTEAPにおいて日本英語検定協会が提供する成績ダウンロードシステムを利用します。上記の検定試験のスコアを利用する場合、証明書は原本・コピーを問わず提出が可能です。 それ以外の検定試験を利用する場合、提出する証明書は原本または原本証明がなされたコピー（Certified True Copy）のみ受け付けます。 作成手順は以下の通りです。 i. 在籍学校が証明書の原本であることを確認し、コピーをとる（カラー・白黒は問いません）。 ii. 証明書のコピーの余白に、「原本と相違ないことを証明する」旨の文言を記載の上、在籍学校の印または学校長の印を押印する。 iii. 在籍学校が厳封（上記①②の証明書と同封可）する。 また、文学部外国語文化学科志願者で、ドイツ語・フランス語・中国語の各種検定試験に合格している場合、本様式を印刷の上、裏面に証明書を貼付して提出してください。その場合の証明書は原本・コピーを問わず提出できます。</p>		

<p>③ 学士入学・ 一般編入学試験 履歴書・面接調書 【様式1・2】</p>	<p>履歴書は、高等学校入学から現在までの経歴を、詳細に記入してください。 面接調書は、面接試験が課される出願者のみ提出してください。</p>	
<p>④ 活動レポート 【様式3】</p>	<p>神道文化・ 法・経済学部</p>	<p>学内外を問わず、過去3年間程度で主体的に取り組んだ活動を1つ選び800字以内で記入してください（活動が団体によるものである場合は、本人の役割を明確にしてください）。</p>

- 〈注意〉
1. 出願後の学部・学科および専攻・コースの変更は認めません。
 2. 書類に不備のある場合は、出願が受け付けられませんのでご注意ください。
 3. 一度提出された出願書類および入学検定料は、いかなる理由があっても返還しませんので、ご注意ください。

(1) 記入上の注意

- ① 出願する入試制度に○をつけてください。
- ② 各種コード一覧を参照し、入試コード・学部・学科を記入してください。専攻欄は法学部のみ記入してください。
- ③ 調査書、その他出願に必要な書類の氏名欄は、住民票に記載されている本名または通称名にて統一してください。
- ④ 濁点・半濁点も1文字として記入してください。
- ⑤ 生年月日・卒業年月は必ず西暦で記入し、月日が1桁の場合は、その数字の前に「0」を入れ、2桁で記入してください。
- ⑥ 住所は受験番号通知書等の送付先となるので、アパート・マンション名まで正確に記入してください(丁目・番地・号は「-」で記入してください)。
- ⑦ 電話番号(日中連絡のとれるもの)は、市外局番・局番・加入者番号それぞれの間を「-」で区切って記入してください。
- ⑧ メールアドレスは正確に記入してください。また、文字の判別がしやすいように、適宜フリガナ等で補足してください(例：アルファベットのO〈オー〉と数字の0〈ゼロ〉など)。

(2) 各種コード一覧

学 部	学 科	コース・専攻	入試コード	
			学士	一般編入
文	日本文		T 1 1 A	Y 1 1 A
	中国文		T 1 1 E	Y 1 1 E
	外国語文化		T 1 1 F	Y 1 1 F
	史		T 1 1 B	Y 1 1 B
	哲		T 1 1 D	Y 1 1 D
神道文化	神道文化	フレックスA(夜間主)	T 2 4 A	Y 2 4 A
		フレックスB(昼間主)	T 1 4 A	Y 1 4 A
法	法律	法律	T 1 2 A	Y 1 2 A
経済	経済		T 1 3 A	Y 1 3 A
	経営		T 1 3 C	Y 1 3 C

高等学校等 コード	入学課(03-5466-0141)へお問い合わせください。 ※大学入試センターのコードと同様です。
--------------	--

課程コード	課 程 コード	全日制 1	定時制 2	通信制 3	その他 9
-------	------------	----------	----------	----------	----------

学科コード	学 科 コード	普通 1	商業 2	工業 3	農業 4	英語 5	総合 6	その他 9
-------	------------	---------	---------	---------	---------	---------	---------	----------

10. 入学検定料

入学検定料の振込について

入学検定料

35,000円

※出願開始日よりお振り込みください。

- ① 入学志願票に必要事項を全て記入した後、出願期限に間に合うように最寄りの銀行または信用金庫等の窓口（銀行等のATM・ゆうちょ銀行は利用できません）から本学が指定する銀行口座へ振込んでください。
 - 振込依頼書は入学志願票と一連になっていますので、必要事項を記入のうえ、切り離さずに銀行等取扱店へお持ちください。
 - 本学が指定する銀行（下記⑥参照）の各本支店から振込む際の手数料は不要ですが、その他の金融機関から振込む場合には本人負担となります。
- ② 振込終了後、「振込依頼書」は取扱店によって切り取られます。それ以外の収納印欄全てに取扱店の収納印が押されていることを必ず確認してください。
- ③ 「本人保存」は領収書となりますので、各自切り取って保管してください。
- ④ **出願の際には「入学志願票・写真票」を切り離さず**に、その他の出願書類とともに入学課宛に送付してください（詳細はP.21～22を参照してください）。
- ⑤ 一度納入された入学検定料は、いかなる理由があっても返還しませんので、ご注意ください。
- ⑥ 本学が指定する銀行口座は下記のとおりです。

みずほ銀行	渋谷中央支店	普通	No.1391131	三菱UFJ銀行	渋谷中央支店	普通	No.0128169
三井住友銀行	渋谷支店	普通	No.8195674	りそな銀行	渋谷支店	普通	No.0093868

※ ご不明な点は、入学検定料を振込む前に、入学課（03-5466-0141）までお問い合わせください。

11. 学費等納付金

(1) 学費等納付金について（令和7年度参考）

（単位：円）

	文学部	経済学部	法学部	神道文化学部
入学金	240,000	240,000	240,000	240,000
授業料	830,000	830,000	830,000	830,000
施設設備費	210,000	210,000	210,000	210,000
維持運営費	10,000	10,000	10,000	10,000
諸費	25,300	27,300	28,300	25,300
初年度合計	1,315,300	1,317,300	1,318,300	1,315,300

前期分（入学手続時）	795,300	797,300	798,300	795,300
後期分（入学後）	520,000	520,000	520,000	520,000

- 備考
1. 中国文学科は、上記文学部の金額に中国学会費2,000円が加算されます。
 2. 入学後、履修する授業によっては、別途費用がかかる場合があります。
 3. 後期分以降の学費等納付金の納付につきましては、口座振替となります。詳細については入学後にご案内します。
 4. 國學院大學出身の方は、諸費から若木学友会入会金1,000円と院友会入会金10,000円が減免されます。
※ただし、第二部出身者は、院友会入会金10,000円のみ減免となります。
 5. 上記は令和7年度学費等納付金です。令和8年度学費等納付金については変更となる場合があります。

(2) フレックスコースの学費等納付金について（神道文化学部）

フレックス開講制のいずれのコースに入学しても学費等納付金は同額です。ただし、フレックスA（夜間主）コースの在籍生を対象に、月～金曜日の5～7時限、土曜日1～7時限およびオンデマンドの科目のみで授業を履修し、かつ経済的に困窮しながらも学業成績が良好である学生に、200,000円を給付する制度「フレックス特別給付奨学金」を設けています。有資格者は入学後所定の期間に出願手続をしてください。詳細は学生生活課（03-5466-0145）にお問い合わせください。

※この奨学金を希望する場合には、出願時に必ず「フレックスA（夜間主）コース」を選択してください。

【入学手続完了後の辞退について】

入学手続を完了した後にやむを得ない事由により、入学を辞退する場合、令和8年3月31日（火）17:00までに所定の申請手続を終えた方には、入学金を除く授業料等納付金を返還いたします。なお、詳細は『入学手続要項』に記載します。

【國學院大學教育充実資金（維持費）についてのお願い】

本学教学内容の維持・充実をはかるため、在学生の保証人（ご父母）各位に國學院大學教育充実資金（1口5万円）のご寄付をお願いしております。入学後の4月にご案内いたしますので、ぜひ1口以上のご協力をお願い申し上げます。

※本学では入学前（3月まで）の募金活動は行っていません。

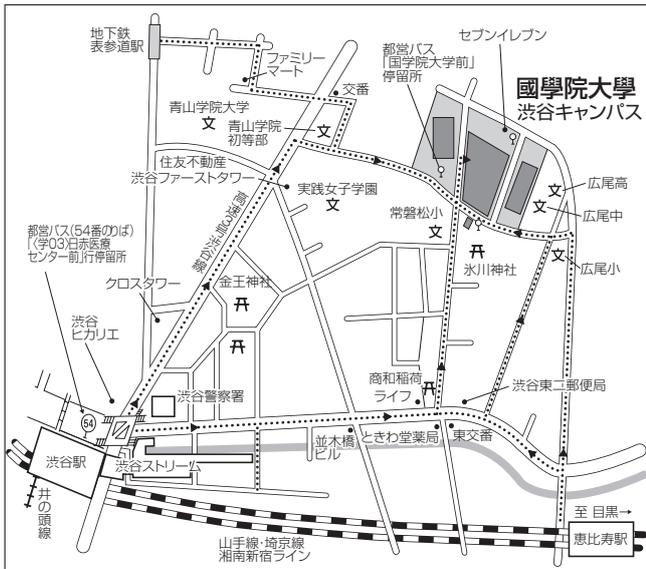
※自筆で記入してください(鉛筆書き不可)。

学士入学・一般編入学試験 面接調書

入試
コード

志願先	学部 学科 コース・専攻 第3学年へ
フリガナ 氏名	
志願理由 (詳細に)	
将来の目標	

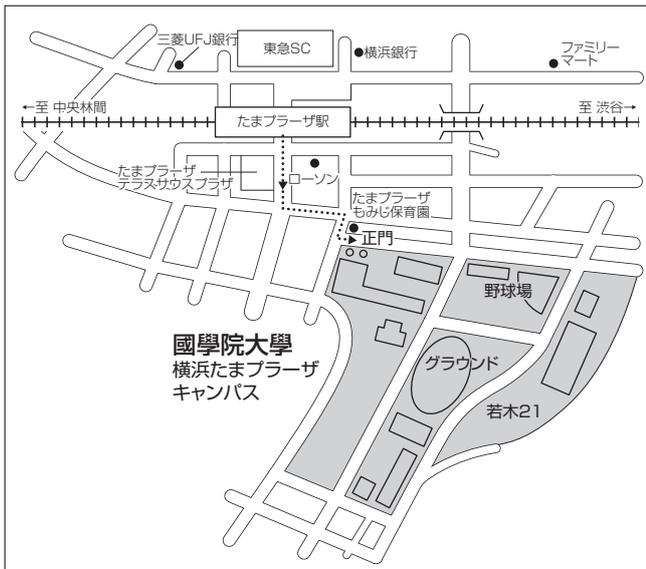
渋谷キャンパス 〈文学部・神道文化学部・法学部・経済学部・専攻科・別科のメインキャンパス〉



＜所在地＞〒150-8440
東京都渋谷区東四丁目10-28

＜交通機関＞渋谷駅東口方面出口より徒歩約13分、
または、
渋谷駅東口バスターミナル(54番のりば)
より
都営バス〈学03系統〉「日赤医療センター前」行き(運賃 現金180円・IC178円)
「国学院大学前」下車

横浜たまプラーザキャンパス 〈人間開発学部・観光まちづくり学部のメインキャンパス〉



＜所在地＞〒225-0003
神奈川県横浜市青葉区新石川三丁目22-1

＜交通機関＞渋谷駅より東急田園都市線(長津田・中央林間方面行き)にて約25分
(東京メトロ半蔵門線相互乗り入れ)
たまプラーザ駅下車南口より徒歩約5分

交通案内図



◎東急田園都市線は、渋谷駅より東京メトロ半蔵門線と相互乗り入れをしています。

※本ページに記載されている情報は発行時のものです。変更される場合がありますので、ご自身で必ずご確認ください。



KOKUGAKUIN Univ.